

福祉

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
福祉	こころとからだの理解	4	3年次・I2J1群	選択

目 標			履修の条件・連絡		
自立生活を支援するために必要なこころとからだの基礎的な知識を習得し、介護実践に適切に活用できる能力を身に付ける。			福祉サービス系列の生徒は必ず履修する。		
使用教科書 (出版社)		こころとからだの理解 (実教出版)	副教材 (準備物)	介護福祉士実務者研修テキスト第4巻 こころとからだのしくみ(中央法規)	
学 習 の 年 間 計 画	1 学 期	4	第3編 人間の成長と発達の基礎的理解 第1章 発達とは	<ul style="list-style-type: none"> 成長と発達とはどのようなことか、加齢に伴う変化や個人差について理解する。 人間の発達と発達課題についての、様々な理論家の呈する定義を理解する。 加齢による身体機能の変化と、それが日常生活に与える影響や高齢者の心理について理解する。 認知症ケアの歴史や理念、認知症の罹患人数の推移と認知症高齢者の現状、認知症高齢者支援対策の概要について理解する。 認知症が及ぼす心理的影響や特徴的な行動障害、周辺症状の背景にある混乱や孤独感など認知症のある人のこころの特徴について理解する。 障害者関係法規、ノーマライゼーションやリハビリテーションの考え方、国際障害者年の理念などを学び、障害の概念や障害者福祉の基本理念について理解する。 視覚障害、聴覚障害、言語機能障害、肢体不自由、内部障害などの身体障害について、各種障害の種類と原因など障害の医学的な基礎知識を身に付ける。 	
		5	第2章 老年期の理解と日常生活		
		6	第4編 認知症の理解 第1章 認知症をとりまく環境		
		7	第2章 認知症の基礎的理解		
		7	第5編 障害の理解 第1章 障害の理解		
			第2章 生活機能障害の理解		
		9	第3編 人間の成長と発達の基礎的理解 第2章 老年期の理解と日常生活 第3章 高齢者と健康		<ul style="list-style-type: none"> 高齢者に多い疾病や症状の現れ方の特徴、日常生活の留意点について理解する。
	10	第4編 認知症の理解 第2章 認知症の基礎的理解 第3章 認知症に伴う心身の変化と日常生活			
	11	第4章 認知症と地域サポート			
	12	第5編 障害の理解 第2章 生活機能障害の理解 第3章 障害に伴う心身の変化と日常生活	<ul style="list-style-type: none"> 人間関係や居住環境などの環境変化が認知症の人の日常生活に与える影響について理解する。 認知症の生活支援では、認知症の特性を踏まえた適切なアセスメントの必要性を認識する。 知的障害、精神障害、発達障害などについて、各種障害の種類と原因など障害の医学的な基礎知識を身に付ける。 障害が及ぼす心理的影響について理解する。 		
12	第3章 障害に伴う心身の変化と日常生活				
1	第5編 障害の理解	<ul style="list-style-type: none"> 地域におけるサポート体制やチームアプローチ、レスパイトケアなど家族への支援について理解する。 関連職種との連携と協働の重要性を理解する。 			
2	第4章 障害と地域生活支援				
3	学習のまとめ(第3編/第4編/第5編)				
学 習 評 価	観 点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	規 準	人間のこころとからだのしくみに関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいるか。		人間の心身の構造や機能を理解した上で、介護を必要とする人に対する安全、安楽な介護技術を身に付けているか。	こころとからだの基礎的な知識を習得し、介護を必要とする人の尊厳を守る介護の基本を理解しているか。
	手 段	・取組状況の観察 ・ワークシート	・レポート ・ワークシート	・ワークシート ・生徒による自己評価	・定期考査 ・ワークシート
	各学期や年間の学習状況の 評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 考査は年5回実施し、各回とも考査点と平常点により評価する。 平常点は、出席状況、授業態度、提出物等を総合的に判断して評価を行う。 			
学習上の 留意点	<ul style="list-style-type: none"> 実務者研修の内容を含む。 「生活支援技術」の学習内容と関連させながら学習する。また、自己の日常生活を関連させ、理解を深める。 				